

## テスト勉強

中学時代の私に言いたいことがあります。それは「あなたは、テスト前で大好きな部活動もないのに、なぜもっと勉強しなかったのですか」ということです。勉強するための時間はありました。にもかかわらず勉強しませんでした。正確にいうと1日に30分から1時間くらいしかできませんでした。一度、休憩（きゅうけい）したら、もうそこで勉強は終わってしまいました。

毎回、テスト勉強の計画表は作成しました。その通りできていたとしたら、見事（みごと）なプランです。しかし、その通りにやったことは、一度もありませんでした。毎回、「また今回もできなかった」という気分のわるさだけが残りました。

部活動がなくなると、使える時間が一気に増えます。計算上は、かなりの勉強量を確保（かくほ）できるはずですが、でも、勉強する習慣（しゅうかん）、机に向かう習慣がない私は、急に勉強しようと思っても、なかなかできないのです。やはり、毎日少しずつ勉強している人、勉強する習慣がついている人は強いのです。

では、習慣がない私はどうしたか。短時間かつ集中力で勝負です。30分集中して休憩、また30分集中して休憩、これを繰り返しました。すべては、次の日のテストのためです。

追い込まれているため、ものすごい集中力で覚えていきましたが、どうも本来（ほんらい）の勉強ではないように感じていました。もっとじっくりと考えながら行うのが勉強なのだと思います。私の場合は、ただのテスト対策でした。テストがあるから勉強する。逆にいうと、テストがなければ勉強しないということです。短時間の一瞬（いっしゅん）の記憶のため、定着度（ていちゃくど）もよくなかったように思います。いわゆる“一夜漬（いちやづけ）”です。

皆さんもテスト勉強に限らず、毎日の勉強が思い通りにいかないことはないでしょうか。なかなか難しいことですが勉強は自分からやらないと続けるのが辛（つら）くなってきます。やらされている、仕方なくやっているというのは、やはり弱いのです。

本当に、数学の勉強がおもしろい、理科が楽しいというようになれば理想的（りそうてき）なのですが、そう簡単にはいきません。今度のテストで〇〇点を取ろう、何番になろうでもいいと思います。何かしら目標がないと努力するのは難しいでしょう。

そうやって勉強しているうちに、社会のおもしろさに気づくこともあるかもしれません。英語が少しずつできるようになるかもしれません。何かに取り組んでいれば、きっかけは、けっこうあるものです。まずは、やってみることです。今までとは何かを変えてみてください。今回のテストがいいきっかけになることを願っています。